

心をつないで



居心地の良い環境を作りましょう

車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和2年9月号】

《重点目標》『自立した品格を目指し 学び合い 認め高め合い 最後までやり遂げよう』

シトラスリボン・プロジェクト やさしさと思いやりの輪をひろげよう!

新型コロナウイルス禍の中、「ただいま」「おかえり」と言い合える安心・安全な地域、職場、学校、そして人の輪を作りたいという願いから、愛媛県で始まった「シトラスリボン・プロジェクト」。愛媛の柑橘にちなんだシトラス色のリボンの3つの輪は、地域、家庭、学校・職場を表しています。本校でも、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐとともに、感染者や回復した人、濃厚接触者、医療従事者やその家族などへの差別や偏見の心を持たない人が増えるように、生徒会が中心となり、このプロジェクトをスタートさせました。取り組みとして、生徒も教職員もプロジェクトに賛同していることを表すカードを身につけて学校生活を送っています。



※生徒会が話し合って決めたスローガンが書かれています。

<生徒会長から全校生へのメッセージ（抜粋）>

私達鹿島中生も、この「シトラスリボン・プロジェクト」に賛同し、実践していきます。生徒会では、まず、誰もが安心して登校できるようにと思い、スローガンを考えました。生徒会が掲げるスローガンは、「私達、鹿島中生は差別をせず、今まで通り仲良く笑いあえる空気をつくります」です。9月23日から10月2日までの約2週間、スローガンが書かれたパスケースを首から提げて学校生活を送ってください。これからの2週間、全校生で「シトラスリボン・プロジェクト」を実践し、掲げたスローガンのように、仲良く笑いあえる空気を一緒につくっていきましょう。

新型コロナウイルス感染症は決して他人事ではなく私たちの身近にあるものです。一人一人がそのことを自覚し、感染症に対する差別や偏見のない、皆が安心して生活できる学校や社会を築いていきましょう。

1年生地域体験学習、2年生職場体験学習 ～体験を成長の糧に!～

9月9（水）、10日（木）に、1、2学年では、総合的な学習の時間において体験学習を実施しました。

1学年は、1日目、あすびと福島、ロボットテストフィールド、南相馬市博物館を訪れ、自分と地域との結びつきや地域の将来について考えました。また、2日目は、ドリームゲート、菅野漬物食品、クフウシヤ、富士コンピュータ、藤倉コンボジット、日本オートマチックマシン、ゆめサポート南相馬（順不同、敬称略）の皆様にご来校いただき、地域産業の現状や地元企業の取り組みについて学びました。さらに、体育館内に設置された各企業のブースを巡り、興味深く製品を手にとったり、企業の方々へのプレゼンに目を輝かせたりしていました。



2学年は、2日間にわたって、キクチ薬局、そうごう薬局、ツルハドラッグ、上真野小学校、鹿島小学校、八沢小学校、市給食センター、クリクラ相馬、ゼネラル鹿島SS、ホンダセンターウメダ、フレスコキクチ、スーパーシッド、ダイユーエイト、香の蔵、門馬農園、根本園芸、美晴湯旅館、鹿島郵便局、相馬森林組合、消防署鹿島分署（順不同、敬称略）の鹿島区内20事業所で職場体験をさせていただきました。この貴重な経験をとおり、将来の自分自身の進路を真剣に考えるとともに、働くことの厳しさや喜びを知る事ができました。



毎年、事業所や関係機関の皆様方には、生徒の受け入れや学校のお願いを快く引き受けていただき、また、当日も親切に対応していただき感謝申し上げます。この貴重な経験が必ずや将来の生徒達の職業理解、職業選択、社会参加への意欲付けになるものと期待しています。

※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。